



平成29年11月30日

各位

上場会社名	株式会社アーレスティ
代表者	代表取締役社長 高橋 新
(コード番号)	5852)
問合せ先責任者	経営企画部長 成家 秀樹
(TEL)	03-6369-8664)

(訂正) 「平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成28年11月8日付で公表しました「平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容及び理由

訂正内容につきましては、本日付で公表しました「第97期 第2四半期報告書の提出、過年度の有価証券報告書及び決算短信等の訂正に関するお知らせ」、理由につきましては、平成29年11月13日付で公表しました「過年度の連結財務諸表等に関する誤謬の判明のお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所は、四半期連結財務諸表中の法人税等調整額の訂正とそれに伴う繰延税金資産又は繰延税金負債の訂正であり、付随する各項目であります。

訂正の箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を添付しております。

以 上

(訂正後)



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石丸 博 TEL 03-6369-8660
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	66,976	△7.2	3,326	82.9	2,857	131.2	2,080	508.9
28年3月期第2四半期	72,206	10.1	1,819	280.4	1,236	—	341	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △4,515百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 776百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	<u>80.48</u>	<u>79.83</u>
28年3月期第2四半期	<u>13.22</u>	<u>13.12</u>

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	<u>124,789</u>	<u>54,575</u>	<u>43.6</u>
28年3月期	<u>139,496</u>	<u>59,262</u>	<u>42.4</u>

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 54,409百万円 28年3月期 59,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
29年3月期	—	8.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	134,400	△7.0	6,000	11.4	5,200	27.5	3,750	<u>91.0</u>	145.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	26,027,720株	28年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	181,928株	28年3月期	181,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	25,845,981株	28年3月期2Q	25,836,655株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、為替の円高基調が継続している中で、雇用・所得環境は堅調に推移しているものの、個人消費は依然として弱含みの状況が続いております。世界経済においては英国のEU離脱影響が限定的であったこともあり先進国を中心に緩やかに回復基調にあります。アメリカでは着実な雇用者増加の傾向が続いており個人消費は堅調に伸びております。中国では小型車の減税措置等により急速な景気の冷え込みから回復したものの、恒久的な景気対策が打ち出されておらず、今後も注視が必要な状況であります。インドの景気は内需を中心に堅調に推移しております。

このような環境の中で、当社グループは1618中期経営計画に基づいた施策展開を着実に進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績については、売上高66,976百万円（前年同四半期比7.2%減）、営業利益3,326百万円（前年同四半期比82.9%増）、経常利益2,857百万円（前年同四半期比131.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,080百万円（前年同四半期比508.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、北米市場向けを中心とした輸出は引き続き好調を維持しており、当社の受注も微増となったものの、主にアルミ地金市況が大きく下落したことにより、売上高は29,940百万円（前年同四半期比3.9%減）となりました。収益面においては、主に生産性改善による効果等によりセグメント利益は1,121百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

② ダイカスト事業 北米

北米では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、ライトトラック系車種を中心とした販売が好調を維持しています。当社においても関連部品の受注がありましたが、一方で生産終了に伴う受注減少やアルミ地金市況が大きく下落したこと及び円高基調にある為替換算影響等により、売上高は21,091百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。収益面においては、主に生産性改善による効果等によりセグメント利益は1,363百万円（前年同四半期比189.9%増）となりました。

③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、昨年スタートした小型車に対する減税効果により前年を上回る販売が続いており、当社においても関係する新規部品立上げもあり受注量が増加しました。一方インドでは、市場ニーズの変化によりディーゼル車向け部品が減少したこと等により受注量は減少しました。これらの背景の下、両地域におけるアルミ地金市況が大きく下落したこと及び円高基調にある為替換算影響等が影響し、アジアでの売上高は12,663百万円（前年同四半期比7.0%減）となりました。収益面においては、主に中国における増産効果等によりセグメント利益は577百万円（前年同四半期比443.8%増）となりました。

④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、販売量は前年同四半期に比べると増加しましたが、アルミ市況変動により販売価格が下落した結果、売上高は2,143百万円（前年同四半期比17.3%減）となりました。収益面においては、アルミ市況変動による利益減少要因があったものの、主に原価低減活動による効果等によりセグメント利益は148百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業のクリーンルーム物件やコンピュータールーム向け物件等の受注により、売上高は1,138百万円（前年同四半期比7.0%増）となりました。収益面においては、主に増収による増益効果等により、セグメント利益は68百万円（前年同四半期比64.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ14,706百万円減少して124,789百万円となりました。主な要因は、円高基調にある為替換算影響等による有形固定資産の減少10,085百万円、売上債権の減少4,449百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ10,018百万円減少して70,214百万円となりました。主な要因は、借入金の減少8,279百万円、仕入債務の減少585百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4,687百万円減少して54,575百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,080百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加1,873百万円、円高基調による為替換算調整勘定の減少6,547百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末42.4%から43.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想は、平成28年8月8日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,505	5,253
受取手形及び売掛金	24,055	19,657
電子記録債権	2,021	1,968
商品及び製品	2,999	2,832
仕掛品	4,006	4,135
原材料及び貯蔵品	3,351	3,244
その他	3,242	2,784
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	44,181	39,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,434	14,731
機械装置及び運搬具(純額)	48,376	41,488
土地	5,268	5,213
建設仮勘定	7,724	6,774
その他(純額)	8,002	7,512
有形固定資産合計	85,806	75,720
無形固定資産	1,628	1,475
投資その他の資産		
投資有価証券	6,201	6,085
その他	1,678	1,631
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,879	7,717
固定資産合計	95,314	84,913
資産合計	139,496	124,789
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,065	11,280
電子記録債務	6,053	6,252
短期借入金	4,536	3,109
1年内返済予定の長期借入金	10,850	9,414
未払法人税等	475	696
賞与引当金	1,568	1,429
役員賞与引当金	20	—
製品保証引当金	121	101
その他	8,612	7,548
流動負債合計	44,304	39,833
固定負債		
長期借入金	27,062	21,646
長期未払金	1,671	1,661
退職給付に係る負債	2,985	3,017
その他	4,209	4,055
固定負債合計	35,929	30,381
負債合計	80,233	70,214

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	<u>33,256</u>	<u>35,130</u>
自己株式	△271	△271
株主資本合計	<u>50,105</u>	<u>51,978</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,875	2,792
為替換算調整勘定	<u>6,780</u>	<u>233</u>
退職給付に係る調整累計額	△629	△594
その他の包括利益累計額合計	<u>9,025</u>	<u>2,430</u>
新株予約権	131	165
純資産合計	<u>59,262</u>	<u>54,575</u>
負債純資産合計	<u>139,496</u>	<u>124,789</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	72,206	66,976
売上原価	64,947	58,230
売上総利益	7,259	8,745
販売費及び一般管理費	5,440	5,419
営業利益	1,819	3,326
営業外収益		
受取利息	9	14
受取配当金	77	86
スクラップ売却益	72	73
その他	83	105
営業外収益合計	243	279
営業外費用		
支払利息	665	473
為替差損	139	225
その他	21	49
営業外費用合計	826	748
経常利益	1,236	2,857
特別利益		
固定資産売却益	5	3
補助金収入	55	49
特別利益合計	60	53
特別損失		
固定資産除売却損	68	61
減損損失	—	23
特別損失合計	68	84
税金等調整前四半期純利益	1,228	2,826
法人税、住民税及び事業税	610	802
法人税等調整額	277	△56
法人税等合計	887	746
四半期純利益	341	2,080
親会社株主に帰属する四半期純利益	341	2,080

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	341	2,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△83	△82
為替換算調整勘定	475	△6,547
退職給付に係る調整額	43	35
その他の包括利益合計	435	△6,595
四半期包括利益	776	△4,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	776	△4,515
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,228	2,826
減価償却費	7,520	6,876
減損損失	—	23
賞与引当金の増減額(△は減少)	△87	△102
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△60	△14
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	99	85
受取利息及び受取配当金	△87	△101
支払利息	665	473
有形固定資産除売却損益(△は益)	62	57
補助金収入	△55	△49
売上債権の増減額(△は増加)	285	3,175
たな卸資産の増減額(△は増加)	777	△447
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,139	199
未払金の増減額(△は減少)	187	18
未払消費税等の増減額(△は減少)	237	343
その他	327	373
小計	9,962	13,738
利息及び配当金の受取額	87	101
利息の支払額	△660	△467
補助金の受取額	50	45
法人税等の支払額	△836	△655
法人税等の還付額	293	314
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,897	13,075
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	96	—
有形固定資産の取得による支出	△7,783	△6,691
有形固定資産の売却による収入	10	3
その他	△90	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,767	△6,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	17,540	11,716
短期借入金の返済による支出	△17,209	△12,786
長期借入れによる収入	5,382	1,969
長期借入金の返済による支出	△6,019	△5,563
配当金の支払額	△156	△206
その他	△122	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	△584	△4,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△534
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	548	747
現金及び現金同等物の期首残高	5,789	4,505
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,337	5,253

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	31,157	23,776	13,618	2,590	1,063	72,206
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,160	0	901	2,407	0	5,470
計	33,318	23,777	14,520	4,997	1,063	77,677
セグメント利益	1,056	470	106	149	41	1,824

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,824
セグメント間取引消去	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	1,819

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	29,940	21,091	12,663	2,143	1,138	66,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,661	4	900	1,914	—	4,481
計	31,601	21,095	13,564	4,058	1,138	71,458
セグメント利益	1,121	1,363	577	148	68	3,280

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,280
セグメント間取引消去	46
四半期連結損益計算書の営業利益	3,326

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ダイカスト事業 日本」において処分予定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において23百万円です。